

★第47回「国際交流の集いファーム体験」が北海道新聞『みなみ風』に掲載されました★

＜北海道新聞『みなみ風』＞

2009年8月21日(金)掲載

もちつき楽し 外国人留学生



七飯で「国際交流のつどい」

【七飯】道南を訪れている外国人留学生が20日、町内で搾乳を体験し、もちつきを楽

しんだ。

道外の大学や専門学校に通う留学生を対象にした「第31

笑顔でもちつきを楽しむ留学生たち

「国際交流夏のつどい」(北海道国際交流センターなど主催)のファーム体験プログラムで訪れた。留学生に日本の文化や自然を知ってほしいと毎年開かれており、今年は中国人や韓国人、マレーシア人留学生ら31人が参加した。19日から森町や七飯町などで農業を体験し、20日から3日間、函館と松前町でホームステイ。23日に函館を離れる。

20日は町内の石黒ファームで搾乳体験などをした後、佐野農園でもちつきに挑戦。留学生は慣れない手つきで懸命にきねを振り下ろし丸めたもちを豚汁と一緒に味わった。

京都大から参加した中国人留学生の張子寅さん(25)は「北海道の自然は素晴らしい。牛と一緒に住みたいです」と笑顔を見せていた。

(大原智也)